乞掲示

理化学研究所原子核グループコロキウム　*2003. 4. 23*

講師：　Dr. Masaaki Takashina

(RIKEN)

題目：　^{11}Be$\rightarrow$^{10}Be+n Breakup Effect on ^{11}Be Elastic Scattering

∗ The seminar will be given in *Japanese.*

日時：　2003年　4月　23日 (Wed.)　14:30 –

場所：　RIKEN Main Bldg. 1F Seminar Room

Abstract

中性子過剰核を含む核反応は、現在の核物理における重要な課題の一つである。特に軽い中性子ハロー核を用いた核反応は、これまでの安定核の場合と何が異なるのか、ハロー構造がどのように核反応機構に作用するのかを調べることは非常に興味深い。そこで今回の研究では、典型的な 1 中性子ハロー構造を持つ 11Be 核の弾性散乱に着目し、ハロー核の分解過程が及ぼす効果を、その分解過程を非摂動論的、非断熱的に扱う事のできる「離散化チャネル結合 (CDCC) 法」を用いて分析を行った。

∗ Host researcher : A. Kohama (RIKEN)

セミナーを希望される方、セミナーのお知らせの email による配送またはその変更を希望される方は下記までご連絡ください。

セミナー係

放射線研究室　東城　順治

セミナー係連絡先

(email)　seminar@rarfaxp.riken.go.jp

(FAX)　048–462–4641

(WWW)　http://rarfaxp.riken.go.jp/~seminar/